

2025 年 6 月 30 日

各 位

株式会社三井住友銀行

ケネディクス株式会社への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、ケネディクス株式会社（代表取締役社長 COO：寺本 光/以下、「ケネディクス」）に対し、同社が策定したグリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）に基づくグリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポーティングを通じ透明性が確保されたものを指します。

ケネディクスは、1995 年の創業以来、様々な投資機会を多くの投資家に提供してまいりました。2024 年現在、4.6 兆円を超える資産を受託運用しており、中規模オフィスビル、居住用施設、ヘルスケア施設、宿泊施設、商業施設、物流施設などを投資対象とする上場 REIT、大規模オフィスビル等を投資対象とする私募 REIT 及び多数の私募ファンドを運用しています。

ケネディクスは、ケネディクスグループがステークホルダーや社会とともに持続的に成長していくために、特に取り組んでいくべきマテリアリティ（重要課題）を設定し、サステナビリティ方針の中で、「運用物件の環境性能の向上という社会的使命に応え、エネルギー消費、CO2 排出、水消費、廃棄物排出など運用物件が環境へ与える影響の継続的削減や有害物質の削減・適切な管理を通じて環境負荷を低減し、環境面での持続可能性に貢献します。」を掲げています。「世界の中から不動産の価値を見出し、動かし、人々に届けていく。」をパーパスに掲げ、不動産の限りなき可能性を切り拓いていくことで、持続的成長と社会的責任の両立を目指しています。

今般、ケネディクスはこのような取組みの一環として、本フレームワークに定める適格クライテリアを充足するプロジェクトを資金使途として、ケネディクス初のグリーンローンを調達いたしました。本フレームワークは、第三者評価として株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2023 年版）」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン（2022 年版）」において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

【本ローンの概要】

契約日	2025 年 6 月 26 日
契約金額	60 億円
契約期間	7 年
貸付人	株式会社三井住友銀行
資金使途	日比谷パークフロント区分 2 フロアの取得資金

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

ケネディクス株式会社 ホームページ：

<https://www.kenedix.com/>

をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター (R&I) による評価結果の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-8260

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。